

三月特別公演事前学習講座

生誕百年 三島由紀夫「能楽」という底流をめぐって

今年で生誕百年を迎える作家三島由紀夫。小説や評論、戯曲など、多彩なジャンルで活動をした彼は、能楽に魅了され影響を受けたことでも知られています。今年度名古屋能楽堂定例公演は、この三島由紀夫の事跡や作品に関わる能作品をご紹介します。

三月特別公演では、謡曲を現代化する試み『近代能楽集』の中の最初の演目「邯鄲」と、能楽師との対談の中で触れられた「花月」を上演します。能の両演目について物語背景や見どころなどを事前に解説する本講座で、能楽鑑賞の一步を始めてみませんか？

～『花月（かげつ）』あらすじ～

七歳になった我が子を見失ったことから出家した僧が、ある春の頃、都の清水寺へ赴く。そこでは花月と名乗る少年が、小歌を謡ったり、花を踏み散らす鶯を射て落とそうとしたり、また清水寺の縁起を曲舞にして舞っていた。これを見た僧は花月が我が子であることに気づき、親子の対面を果たす。花月は父に会えたことを喜び、天狗にさらわれて諸国を廻ったことを、羯鼓を打ち簞をすりながら語り舞い、やがて父と共に修行の旅に立つ。

～『邯鄲（かんたん）』あらすじ～

蜀の国の青年盧生は、人生に疑問を持ち空しい日々を送っていたが、楚の国羊飛山にいるという尊い知識人に身の一大事を尋ねようと旅立つ。途中、邯鄲の里で宿をとると、女主の勧めによって、粟の飯の炊きあがる間「邯鄲の枕」という不思議な枕で昼寝をする。夢の中で盧生は、楚国の勅使に迎えられて、帝位につき五十年の間、満ち足りた栄華を味わう。しかし女主の知らせに目を覚ますと、五十年の栄華が粟の飯が炊ける間のわずかな時間に見た夢であったことを知り、やがて人生が何たるかを悟って心安らかに故郷に帰っていく。

ご受講には事前学習講座
チケットが必要です

500円

チケット取扱いについて

チケット発売日：12月23日（火）

チケット取扱い：

名古屋能楽堂 TEL:052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL:052-249-9387（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口

<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

（工事休館などがありますので、ホームページでご確認下さい。）

講座日時

【日 時】 2月14日（土）
14:00～16:00

【会 場】 名古屋能楽堂 会議室

【講 師】 林 和利
（文学博士・伝承文化研究センター所長）

【定 員】 60名（未就学児入場不可）

※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

三月特別公演

【3月1日（日）13:30開演】

能 「花月」（金剛流） シテ／加藤かおる

狂言「賽の目」（和泉流） シテ／松田 高義

能 「邯鄲」（宝生流） シテ／内藤 飛能

指定席 5,200円、自由席（一般） 4,200円

自由席（学生） 2,000円



- 地下鉄鶴舞線「浅間町」①出口 徒歩10分
- 地下鉄名城線「名古屋城」⑦出口徒歩12分
- 市バス栄13系統（栄～安井町西）
「名古屋城正門前」下車すぐ
- なごや観光ルートバス メーグル
「名古屋城」下車すぐ